

令和 2 年度 ごみ処理状況について

富士市環境部廃棄物対策課

# 令和 2 年度 ごみ処理状況について

3 月末 現在

～ごみ処理総量は焼却量とともに数値上は漸減傾向にある。～

…… 富士市ごみ処理基本計画2015-2024に掲げる4つの目標指標の達成状況について、達成された目標指標は事業系ごみ焼却量のみ。……

## 1)ごみ処理総量等

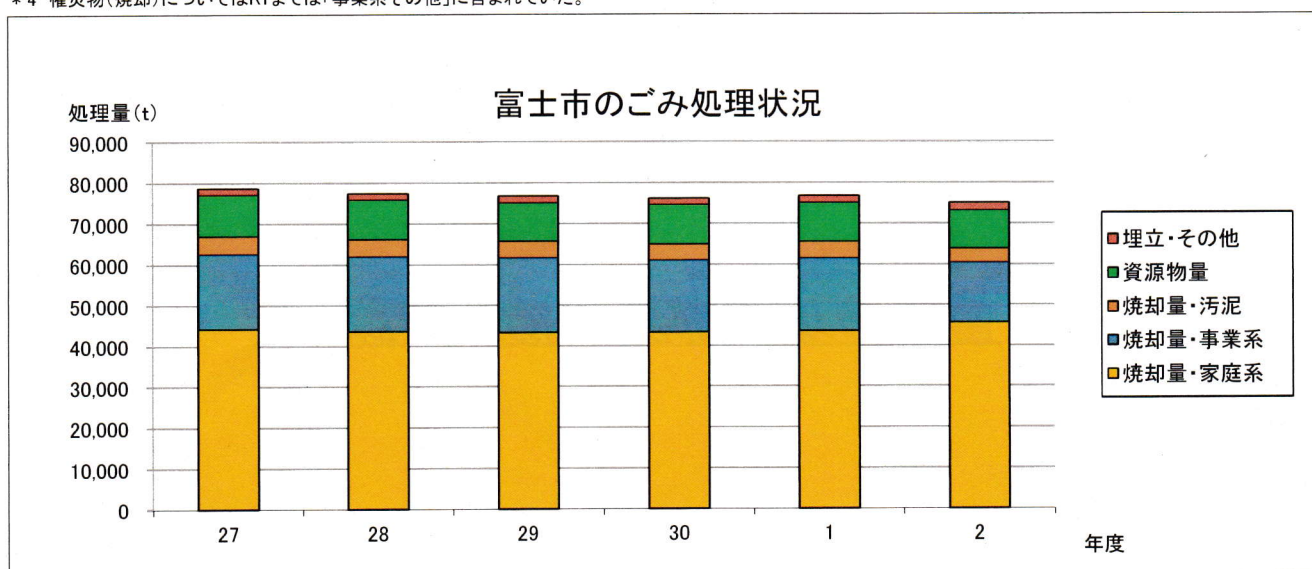
富士市のごみ処理量 (単位:t)

年度		H 27	H 28	H 29	H 30	R 1	R 2	差引
ごみ処理総量	量(t)	78,780	77,507	76,833	76,176	76,770	75,154	△ 1,616
	増減率(%)	-2.5%	-1.6%	-0.9%	-0.9%	0.8%	-2.1%	
焼却量	量(t)	67,060	66,339	65,761	64,964	65,582	63,883	△ 1,699
	増減率(%)	-2.9%	-1.1%	-0.9%	-1.2%	1.0%	-2.6%	
家庭系	量(t)	44,171	43,634	43,260	43,243	43,665	45,597	1,932
	増減率(%)	-2.8%	-1.2%	-0.9%	0.0%	1.0%	4.4%	
事業系 その他	量(t)	18,534	18,445	18,402	17,762	17,930	14,810	△ 3,120
	増減率(%)	-3.4%	-0.5%	-0.2%	-3.5%	0.9%	-17.4%	
罹災物 (焼却)	量(t)	0	0	0	0	0	22	22
	増減率(%)	-	-	-	-	-	-	
下水汚泥 し尿汚泥	量(t)	4,355	4,260	4,099	3,959	3,987	3,454	△ 533
	増減率(%)	-2.2%	-2.2%	-3.8%	-3.4%	0.7%	-13.4%	
資源物量 *3	量(t)	10,014	9,607	9,418	9,638	9,539	9,336	△ 203
	増減率(%)	0.5%	-4.1%	-2.0%	2.3%	-1.0%	-2.1%	
埋立・その他 *1	量(t)	1,706	1,562	1,654	1,574	1,649	1,935	286
	増減率(%)	-4.4%	-8.4%	5.9%	-4.8%	4.8%	17.3%	
ごみ処理基本計画対象量 *2	量(t)	74,326	73,186	72,597	72,216	72,720	71,607	△ 1,113
	増減率(%)	-2.5%	-1.5%	-0.8%	-0.5%	0.7%	-1.5%	

\* 1 直接埋立、破砕埋立、マット・ソファ・罹災物を含む

\* 2 ごみ処理基本計画対象=ごみ処理総量-(下水・し尿汚泥+罹災物) \*3 行政回収量のみ把握(集団回収量等については不算入)

\* 4 罹災物(焼却)についてはR1までは「事業系その他」に含まれていた。



①ごみ処理総量は、 75,154 t となり、対前年比で 2.1 % の減少

○前年と比較したごみ処理総量の △1,616 t の内訳は、埋立その他で 286 t 増加、資源物量については 203 t 減少、焼却量についても 1699 t 減少した。

②環境クリーンセンターでの焼却量は、 63,883 t となり、対前年比で 2.6 % の減少

○対前年比で家庭系ごみが、 1932 t 増加し、事業系・その他は 3120 t 減少している。

ごみ処理総量は、令和元年度に比べ1,616トンの減少となりました。減少となった理由は下記の通りとなります。

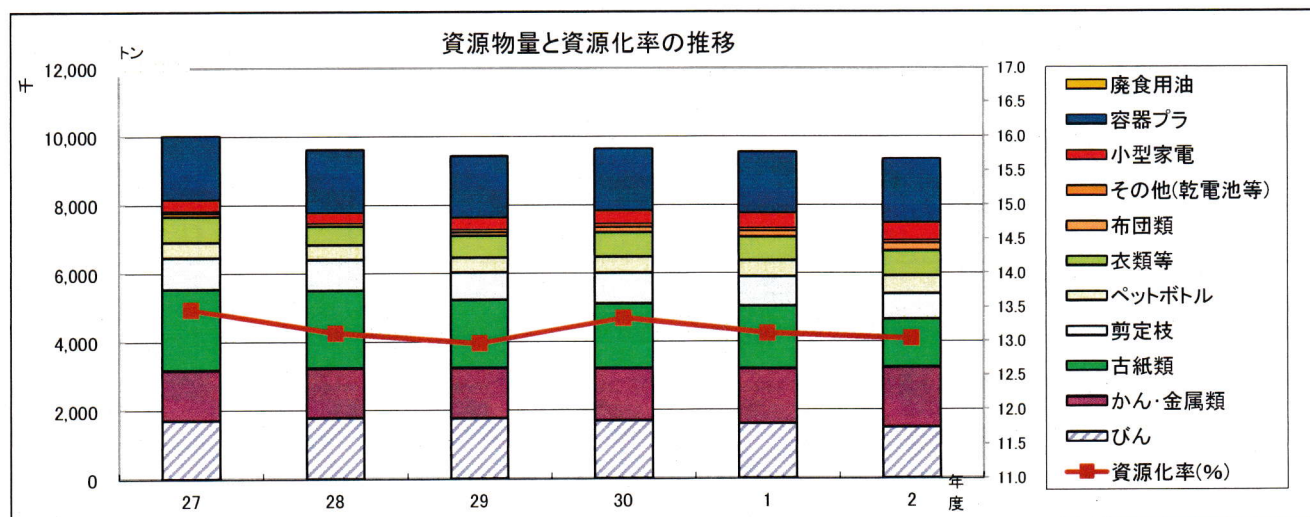
コロナ禍の影響で事業活動が滞ったことから事業系ごみ焼却量が大きく減少し、家庭系ごみ焼却量が増加したため。ごみ処理総量の減少は、巣ごもり需要による家庭系ごみ増加分と比較しても、事業系ごみの減少幅の方が大きかったと考えられます。

## 2) 資源化物量 (行政回収量のみ)

富士市の資源化物量(t)と資源化率(%)

年度	H 27	H 28	H 29	H 30	R 1	R 2	差引
資源物総量	10,014	9,607	9,418	9,638	9,539	9,336	△ 203
びん類	1,705	1,788	1,764	1,689	1,595	1,474	△ 121
かん・金属	1,462	1,440	1,460	1,516	1,604	1,753	149
古紙類	2,379	2,273	2,004	1,909	1,836	1,417	△ 419
剪定枝	914	900	807	901	869	744	△ 125
ペットボトル	447	427	430	460	457	528	71
衣類・小物類(靴、鞆、ベルト)	748	553	633	713	697	729	32
布団類	0	21	116	182	185	242	57
その他(電池・コード類・蛍光管)	72	71	74	76	78	83	5
小型家電	310	310	339	393	426	497	71
容器プラ(白色トレイ含む)	1,838	1,795	1,762	1,771	1,765	1,849	84
廃食用油	28	29	29	28	28	20	△ 8
資源化率 *1	13.5%	13.1%	13.0%	13.3%	13.1%	13.0%	-0.1%

\*1 資源物総量 ÷ ごみ処理基本計画対象量 × 100



- ①資源物総量は 9,336 t で、対前年比で 203 t ( 2.1 % ) 減少した。
- ②ごみ総量が 減少 し、資源物総量も 減少 した。その結果、資源化率は 13.0 % と前年度より 0.1 ポイント 下回った。(ごみ処理総量に対する資源化率)
- ③びん、かん・金属、古紙の主要品目で全資源物量の約8割を占めているが、対前年比でそれぞれ  
びん 7.6 % 減少、かん・金属 9.4 % 増加、古紙類は 22.8 % 減少している。
- ④ペットボトル、剪定枝、衣類・小物類、布団類、容器プラ、廃食用油の比較的近年に取り組み出した品目について

○ペットボトル	71 t	(対前年比 15.5 %)	増加している。
○剪定枝	125 t	(対前年比 14.3 %)	減少している。
○衣類・小物類(靴、鞆、ベルト等)	32 t	(対前年比 4.6 %)	増加している。
○布団類	57 t	(対前年比 30.4 %)	増加している。
○容器プラ	84 t	(対前年比 4.8 %)	増加している。
○廃食用油	8 t	(対前年比 28.7 %)	減少している。

資源物量は、全体で203トン減少しており、かん・金属、ペットボトル、衣類・小物類、布団類、電池・コード類・蛍光管、小型家電、容器プラスチックの7品目が増加しました。

古紙類は、新聞・雑誌等、紙媒体発行部数の大幅な減少等が影響し、419トン減少しました。

### 3) 富士市ごみ処理基本計画2015-2024目標値との対比

- 富士市ごみ処理基本計画2015-2024に基づく1人1日当たりの焼却量及び資源化率、事業系ごみについて

(単位: g)

年度	H 27	H 28	H 29	H 30	R 1	R 2
家庭系ごみ1人1日当たり排出量(目標値)	490	485	480	475	470	468
家庭系ごみ1人1日当たり排出量(実績値)	488	484	482	484	490	516
資源化率[%](目標値)	15.0	15.5	16.5	17.5	18.0	18.2
資源化率[%](実績値)	13.5	13.1	13.0	13.3	13.1	13.0
1人1日あたりの焼却量(目標値)	665	655	650	645	640	636
1人1日あたりの焼却量(実績値)	668	666	664	659	668	657
事業系ごみ焼却量(目標値)	18,900	18,300	17,700	17,300	16,800	16,600
事業系ごみ焼却量(実績値)	18,533	18,444	18,402	17,762	17,929	14,810

※目標値との対比においては、し尿汚泥・下水道汚泥・罹災物量は除く。

\* 家庭系ごみ1人1日当たり排出量(g) = (家庭系焼却量 + 埋立(罹災物は除く))(t) ÷ 人口 ÷ 365日(366日) × 1,000,000

\* 資源化率(%) = 資源物量 ÷ ごみ処理基本計画対象量 × 100 (資源物量については、行政回収量のみ)

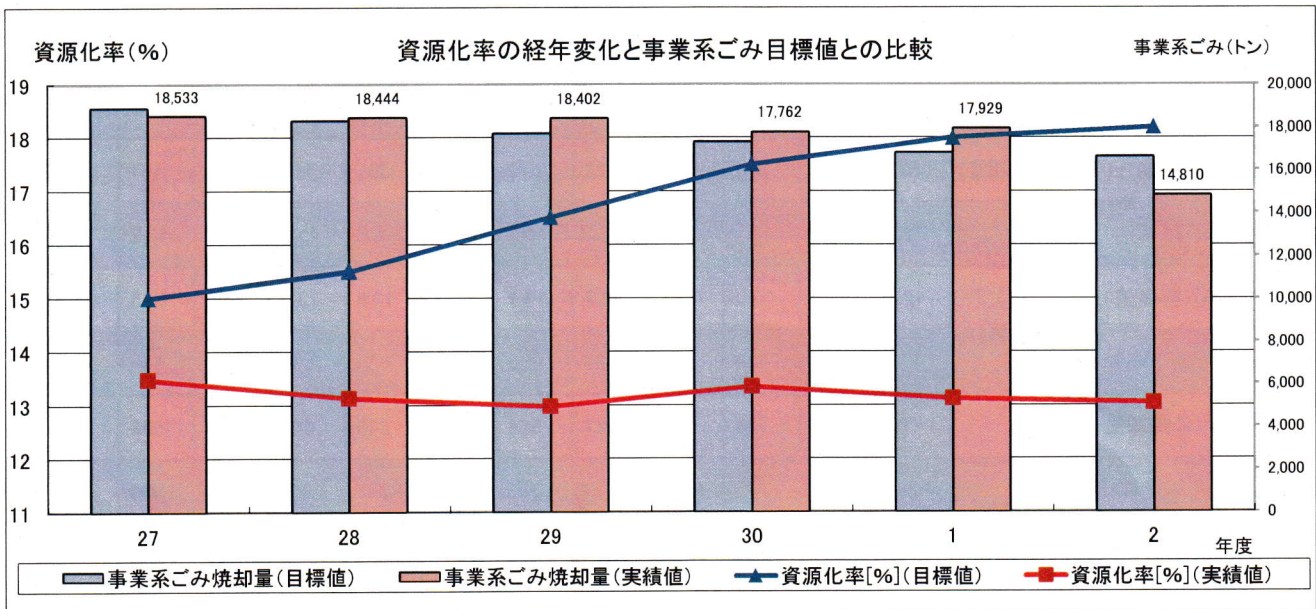
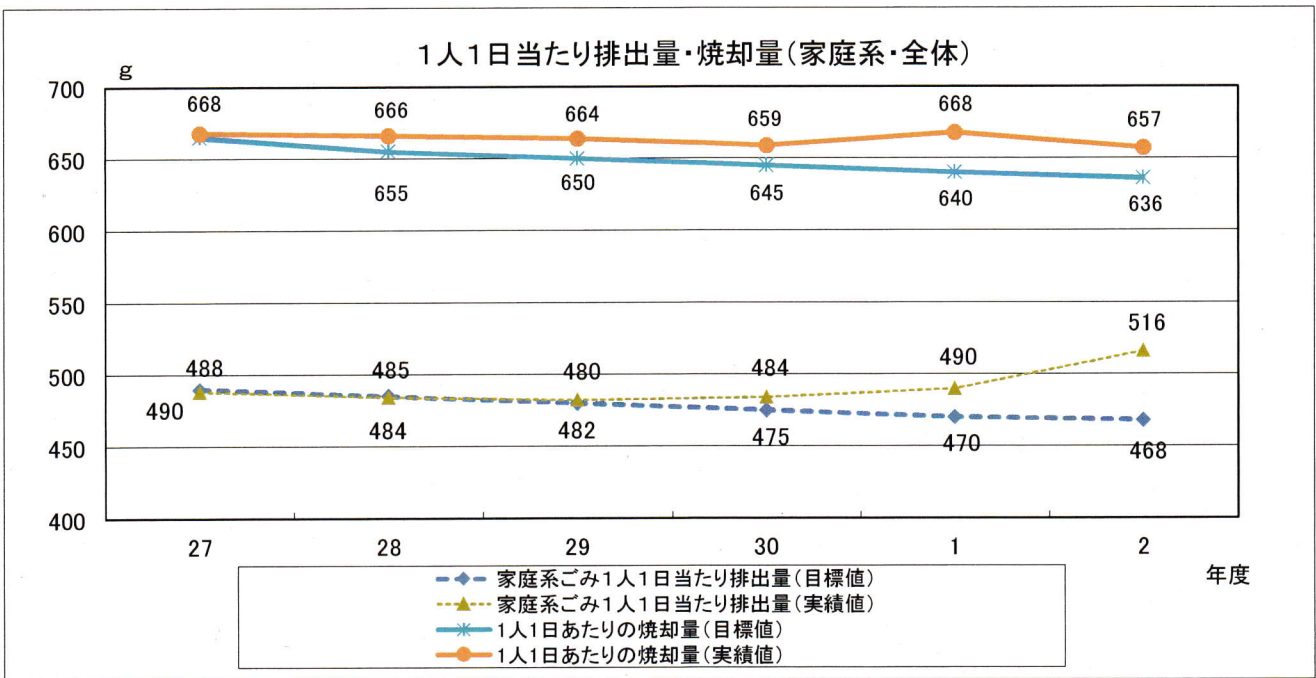
\* 1人1日当りの焼却量(g) = (焼却量(t) - 下水・し尿汚泥(t)) ÷ 人口 ÷ 365日(366日) × 1,000,000

\* 富士市人口 251,616 人( 3 月末現在)

【ごみ処理基本計画対象値の構成】

(単位 : t)

年度		H 27	H 28	H 29	H 30	R 1	R 2	構成比
項目								
焼却量 (罹災物・下水・し尿汚泥は除く)	量(t)	62,705	62,079	61,662	61,005	61,595	60,407	84.4%
	増減率(%)	-3.8%	-1.0%	-0.7%	-1.1%	1.0%	-1.9%	
資源物量	量(t)	10,014	9,607	9,418	9,638	9,539	9,336	13.0%
	増減率(%)	3.4%	-4.1%	-2.0%	2.3%	-1.0%	-2.1%	
埋立(罹災物を除く)	量(t)	1,607	1,500	1,517	1,573	1,586	1,863	2.6%
	増減率(%)	-8.7%	-6.6%	1.1%	3.7%	0.8%	17.5%	
ごみ処理基本計画対象	量(t)	74,326	73,186	72,597	72,216	72,720	71,607	100%
	増減率(%)	-3.1%	-1.5%	-0.8%	-0.5%	0.7%	-1.5%	



①ごみ処理基本計画対象値については 71,607 t となり、対前年比で 1.5 % 減少し、焼却量(下水・し尿・汚泥は除く)についても、60,407 t となり、対前年比で 1.9 %の減少となった。

○ごみ処理基本計画対象値における焼却量(下水・し尿・汚泥は除く)の構成比は、84.4 %であり、対前年比で 0.3 ポイントの減少となっている。

○ごみ処理基本計画対象値における資源物量の構成比は、13.0 %であり、対前年比で 0.1 ポイントの減少となっている。

○ごみ処理基本計画対象値における埋立量(罹災物は除く)の構成比は、2.6 %であり、対前年比で 0.4 ポイントの増加となっている。

②家庭系ごみの1人1日当たりの排出量は 516 g であり、対前年比で 26 g ( 5.3 %)の増加となり、目標値 468 g に対して 48 g 上回っている。

◇目標値に対する割合…… 10.3% 超過し、達成できていない。

③資源化率は 13.0 %であり、対前年比で 0.1 ポイント下回り、目標値 18.2 % に対しては 5.2 ポイント下回り、目標値を達成できていない。(行政回収のみ把握)

④令和2年4月 に行った古紙回収ボックス等実態調査から算出した、民間の古紙回収量 4,992 トンを加算した場合の資源化率は 20.0 %となり、目標値を上回る。

⑤1人1日当たりの焼却量は 657 g であり、対前年比で 11 g ( 1.6 %)の減少となったが、目標 636 g に対して 21 g 上回っている。

◇目標値に対する割合…… 3.3% 超過し、達成できていない。

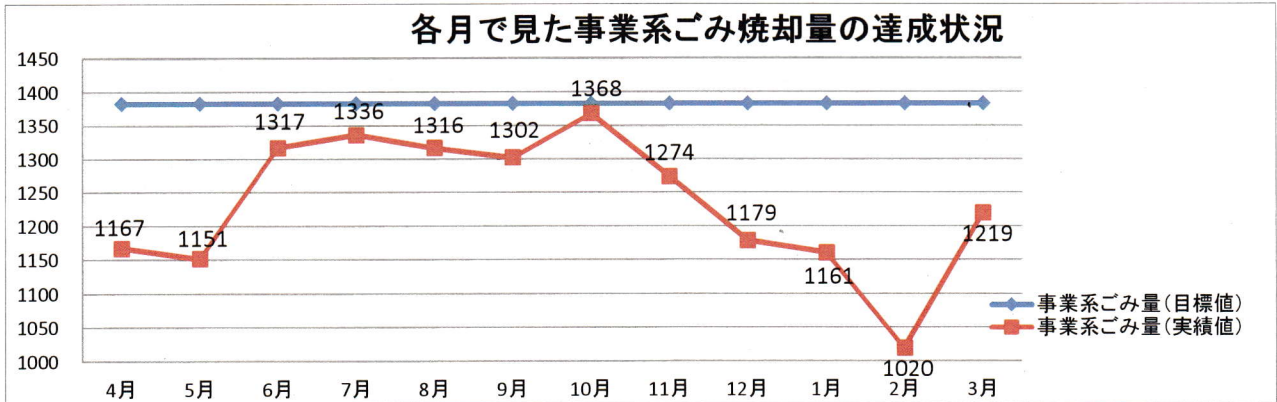
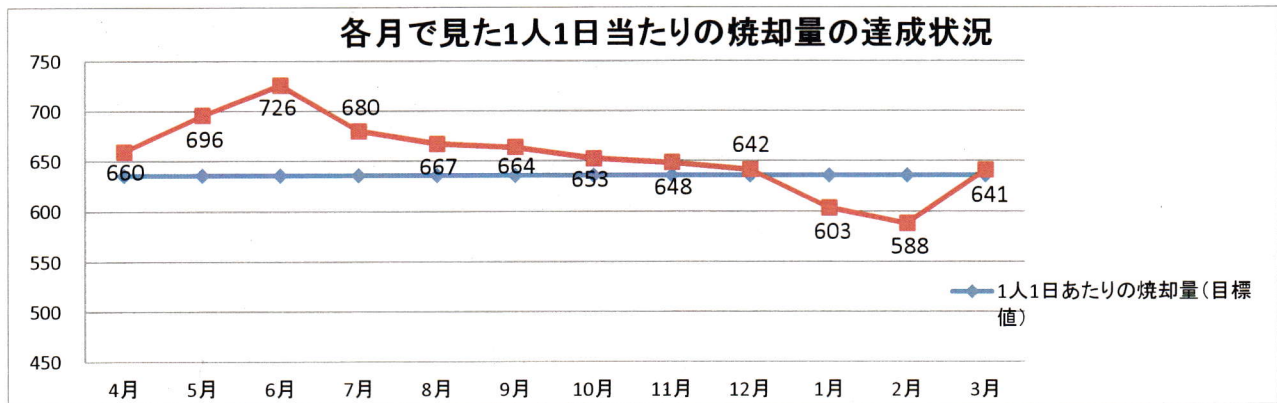
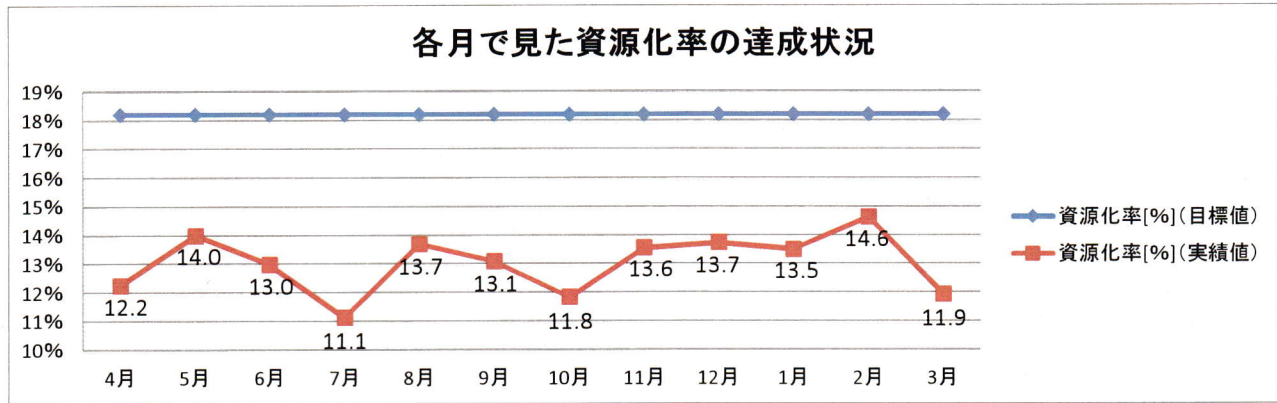
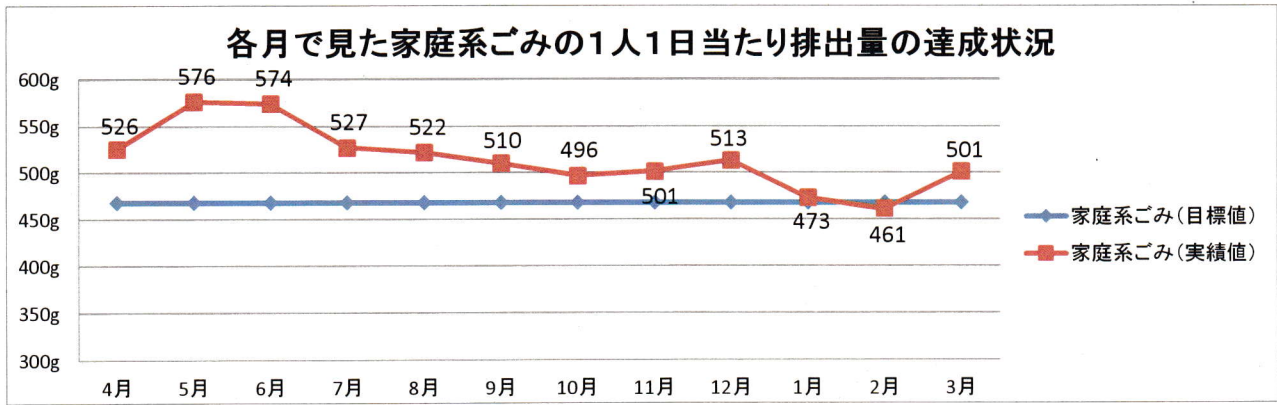
⑥事業系ごみ量は 14,810 t であり、対前年比で 3119 t ( 17.4% )の減少となり、目標値 16,600 t に対して 1,790 t 下回り、目標値を達成した。

◇目標値に対する割合…… 12.1 % 減少し、達成できた。

● 各月で見た1人1日当たりの排出量と焼却量及び資源化率の達成状況について

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
家庭系ごみ1人1日当たり排出量(目標値)	468	468	468	468	468	468	468	468	468	468	468	468
家庭系ごみ1人1日当たり排出量(実績値)	526	576	574	527	522	510	496	501	513	473	461	501
資源化率[%](目標値)	18.2	18.2	18.2	18.2	18.2	18.2	18.2	18.2	18.2	18.2	18.2	18.2
資源化率[%](実績値)	12.2	14.0	13.0	11.1	13.7	13.1	11.8	13.6	13.7	13.5	14.6	11.9
1人1日あたりの焼却量(目標値)	636	636	636	636	636	636	636	636	636	636	636	636
1人1日あたりの焼却量(実績値)	660	696	726	680	667	664	653	648	642	603	588	641
事業系ごみ焼却量(目標値)	1,383	1,383	1,383	1,383	1,383	1,383	1,383	1,383	1,383	1,383	1,383	1,383
事業系ごみ焼却量(実績値)	1,167	1,151	1,317	1,336	1,316	1,302	1,368	1,274	1,179	1,161	1,020	1,219

※ 目標値については、今年度のごみ処理基本計画に掲げる数値。なお、事業系ごみ量については年間の目標値を12で等分したもの



- ①家庭系ごみの1人1日あたりの排出量については、2月以外は目標を達成していない。
- ②資源化率については、1年を通じて目標を達成していない。
- ③1人1日あたりの焼却量については、1月、2月 は目標を達成した。
- ④事業系ごみ焼却量については、年間を通して目標を達成した。